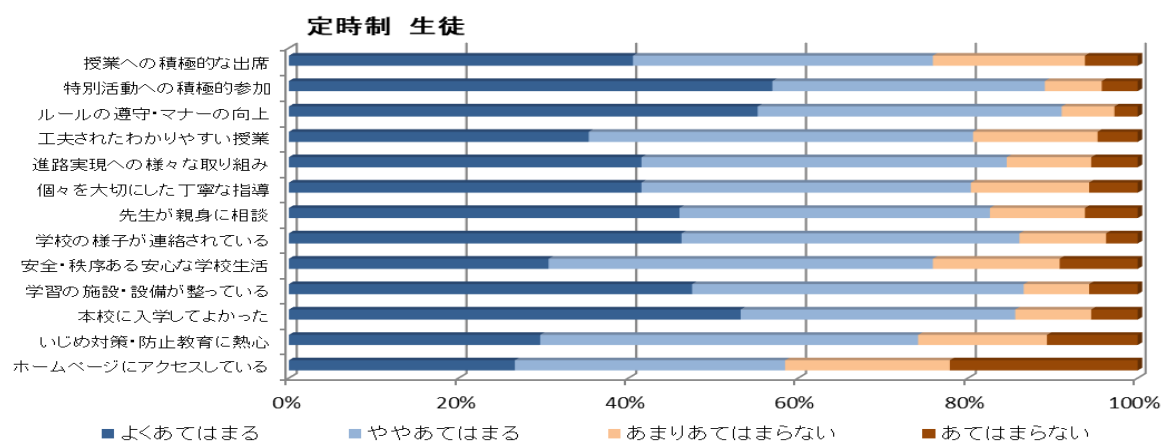


令和3年度 学校評価結果

1 生徒アンケートから

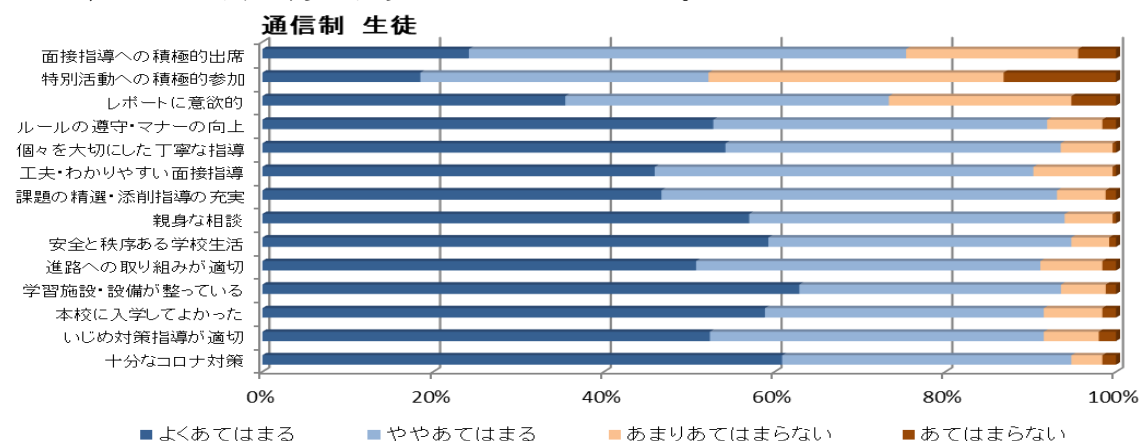
(1) 定時制

「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、13項目中9項目で80%以上という高い割合で安定している。特に「ルールを遵守し、マナーの向上に努めている」の項目は、91.0%の生徒が肯定的な評価をしている。また、「学習の施設・設備が整っている」「学校生活の様子がよく連絡されている」「先生が親身に相談に応じてくれる」「生徒一人ひとりを大切に、丁寧な指導が行われている」「進路実現のために様々な取り組みが行われている」「わかりやすい授業が行われている」「特別活動に積極的に参加している」といった生活や学習指導などに関わる項目の肯定的な評価はいずれも80%を超えており、生徒にとって良好な教育環境が実現していると考えられる。「本校に入学して良かった」についても前年をさらに3%ほど上回り85.6%の生徒が肯定的な評価しており、引き続き個を大切にした指導に努めていきたい。一方、「ホームページにアクセス」の項目は、肯定的な評価が58.5%で、前年と同様に他に比べると低い結果となっている。ホームページでは学校生活に関わる重要な情報が発信されているので、引き続きアクセスを促すように指導していきたい。



(2) 通信制

肯定的な評価が、14項目中11項目で90%以上と非常に高い。一方、肯定的な評価が80%を切った項目のうち、「レポートに意欲的」(73.4%)は昨年度より5.5%、「面接指導への積極的な出席」(75.4%)は昨年度より4.0%それぞれ上昇している。指導の成果が反映されているといえよう。また、「特別活動への積極的な参加」(52.3%)も昨年度より4.0%上回ったが、他の項目と比較すると、低い結果となっている。これは、コロナウイルス対策で、特別活動に関わる行事の中止、形式変更となったことによる影響があるのかもしれない。また、前年度からコロナウイルス対策の項目を新たに追加したが、95%近くの生徒が肯定的な評価をしている。「本校に入学して良かった」の項目では肯定的な評価が91.5%と極めて高い数値を示しており、総じて生徒にとって良い環境が実現していることがわかる。



2 保護者アンケートから

ほぼ全ての項目において、肯定的な評価が80%を超えていることから、定時制・通信制の特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導には、おおむね理解が得られていると考えられる。特に、定時制・通信制とも、保護者との面談・連携などの項目において肯定的な評価が90%以上となっており、学校に対する信頼の高さがうかがえる。また、通信制で昨年度から新たに加えたコロナウイルス対策の項目でも、非常に高い評価（99.1%）となっている。

これに対して、肯定的な評価が80%を下回ってる項目は、定時制では「いじめ対策・防止教育が適切」（70.2%）である。この結果は、前年度より4.6%上昇したが、5人に1人以上が「わからない」（21.8%）と回答している。本校では、組織的かつ適切にいじめ対策とその防止教育を実施している。今後、この指導の実態を保護者にうまく伝える方策の工夫・改善が課題である。

一方、通信制で肯定的な評価が80%を下回ってる項目は「学校行事に参加したい」（57.4%）と「家庭で子供とよく話す」（75.7%）である。これらの項目は昨年度（前者が66.3%、後者が79.0%）よりも下降しているので、今後も向上に向けての取組を継続して行っていきたい。

なお保護者アンケートの回収率は、生徒の回収率と比べ著しく低い。保護者の意向や関心等を正確に把握するためにも、回収率を高めるための方策を考える必要がある。

総じて本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念との合致が認められる。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努めながら教育活動を展開していきたい。

